

前期基本計画

[1] 教育・文化

～ **歴史と文化が薫り英知を育む村** ～

1. 教育の充実
2. 生涯学習・スポーツの振興
3. 文化の振興

1. 教育の充実

現状と課題

- 幼稚園教育の充実をはかるため保育所との連携に取り組むとともに、幼稚園教育と学校教育を円滑につなげるため小学校との連携にも取り組んでいます。今後、より効果的な連携方法を検討しながら幼稚園教育の充実に努める必要があります。
- 園児へのきめ細かい支援を行うため、特別支援員の配置等により障がいを持つ園児の円滑な教育に取り組んでいます。今後も特別支援員の配置を行い、支援を要する園児の教育に取り組む必要があります。
- 多様な保護者ニーズに応えるため、安富祖幼稚園でモデル的に預かり保育を実施しています。引き続き保護者ニーズに応じた預かり保育の充実に取り組む必要があります。
- 学校教育では、学習支援員の配置や児童生徒の学習レベルにあった学習指導の工夫・改善に取り組むとともに、教職員の資質向上をはかる等子ども達の学力の向上に努めており、今後も学力の向上に向け取組みを進めていく必要があります。
- 小・中学校においても障がいを持つ児童生徒が安心して充実した学校教育が受けられるよう必要に応じ特別支援員を配置しています。今後も特別支援員の配置を行い、支援を要する児童・生徒の学習支援に取り組む必要があります。
- 学校教育では給食の時間を通して、食育の指導に取り組んできました。今後は、子ども達が生涯を通じ健康な生活を送るための基礎を培うため、体育・家庭科・特別活動において「体育・健康に関する指導」の一環として、「食」に関する指導の充実をはかる必要があります。
- 学校教育では、学校・家庭・地域と連携をはかり、子ども達の健全育成および基礎学力の定着に取り組んできました。今後も、学校・家庭・地域が協力しながら、子ども達の豊かな心の育成、健康・体力の向上、確かな学力の向上に取り組むとともに、子ども達の学習意欲の向上をはかる必要があります。
- 子ども達がより良い環境のなかで学ぶことができるよう、校舎の改築や情報関連機器の充実等に取り組んできました。今後も、継続的に施設の維持管理に取り組むとともに、プールの改築や情報関連機器等の更新を行う必要があります。
- 中学校については平成 22 年 12 月に「教育振興審議会」を設置し、統合に関する検討を進めてきました。今後は、審議会の答申を受けながらさらなる検討を進める必要があります。
- 沖縄科学技術大学院大学関係者の居住区整備にともない、その子弟の村立幼稚園・小中学校への通学が想定されます。受入れ体制を整え、特色ある教育を進める必要があります。

基本方針

幼稚園、小学校、中学校が連携し、確かな学力の向上に取り組むとともに、恩納村の次代を担う子ども達が、社会の変化に主体的に対応できる「心・知・体」を身につけることができるよう、学校・家庭・地域が一体となった教育環境づくりを推進します。

学校施設の充実や幼稚園での預かり保育の実施、中学校の統合等による教育環境の充実をはかります。

施策の展開

1) 幼稚園教育の充実

- 基礎的な生活習慣の形成等、集団生活や遊びを通して発達の状況に応じた幼児教育を推進するとともに、保育園、幼稚園、小学校の連携をはかる等幼児教育の充実に取り組みます。
- 保育所との連携を密にし、特別支援員の配置等により障がいを持つ園児のサポートに取り組みます。
- 保護者ニーズに応じた幼稚園での預かり保育の拡充を進めます。

2) 学校教育の充実

- 学習支援員の配置等により、きめ細かな学習指導を行うことで、子ども達一人一人が自ら学ぶ意欲を持ち、確かな学力が身につけられるよう学習指導の充実をはかります。
- 先進地視察研修や講師招聘による研修事業、スキルアップ研修等の実施により教職員の資質向上に取り組むことで、子ども達の学力向上をはかります。
- 特別支援員の配置等により、障がいを持つ児童生徒でも安心して学校教育が受けられるよう取り組みます。
- 食事の重要性、心身の成長、健康の保持増進等、望ましい食生活のあり方等の指導を充実し食育の推進をはかります。
- 学校・家庭・地域と連携をはかりながら、子ども達の豊かな心の育成、健康づくり、体力の向上、確かな学力の向上に取り組むとともに、各種検定料の助成等により、子ども達の学習意欲の向上をはかります。
- 今後の国際化に対処するため、国際的に活躍できる人材育成に向け、英語教育の充実をはかります。

3) 教育環境の充実

- 既存施設の維持管理及び更新を行うとともに、エコスクール（環境を考慮した学校施設）を進めます。
- 情報関連機器の拡充を行うとともに、情報教育の充実をはかります。
- 防災教育の充実及び避難経路の確保等に取り組むことで、子ども達が安心して学ぶことができる環境づくりに取り組みます。
- 子ども達の教育環境の向上をはかるため、中学校統合に向けた検討を進めます。

- 沖縄科学技術大学院大学関係者の子弟受入れのため、学校施設及び指導体制の整備に取り組めます。

2. 生涯学習・スポーツの振興

現状と課題

- 様々な学習ニーズに対応するため、目的や世代別等による地域公民館講座等を提供してきました。今後も、地域のニーズや課題等に対応した教室や講座の提供に努めるとともに、生涯学習に対する村民意識の高揚に取り組む必要があります。
- 健康づくりに配慮したスポーツの振興をはかるため、地域でのスポーツ教室や軽スポーツ大会を開催してきました。今後も、誰でも気軽に取り組めるスポーツの普及、発展に取り組むとともに、健康づくりと連携したスポーツ意識の高揚に取り組む必要があります。
- スポーツ競技力の向上をはかるため、村体育協会、県外大会へのスポーツクラブチームの派遣や個人選手に対する支援を行うとともに、スポーツ指導者の確保に取り組んできました。今後も、各種団体等の県外派遣に対する支援および指導者の育成に取り組む必要があります。
- 村では毎年、韓国プロ野球団のキャンプにあわせ子ども野球教室を開催する等、プロ選手と触れ合う機会を提供しています。平成22年度からは新たに韓国サッカーナショナルチームのキャンプが実施される等、多くのプロ選手が恩納村を訪れています。今後も、キャンプの機会を活用しながらスポーツの振興をはかる必要があります。
- 地域における生涯学習や生涯スポーツを促進するため、婦人会や青年会、体育協会等各種社会教育団体等との連携をはかるとともに、各種団体の指導者の養成等に取り組んできました。今後も引き続き、活動の核となる各種社会教育団体等の活動を支援する必要があります。
- 村内には赤間総合運動公園やコミュニティセンター、博物館、ふれあい体験学習センター、各字の公民館等、多くの生涯学習関連施設が立地しており、学習やスポーツの場として開かれています。今後は、各施設の役割分担を明確にしながら、施設の活用充実に努める必要があります。
- 村では国際交流派遣事業や自然体験学習等を実施するとともに関係団体と連携をはかり「地域の子どもは地域で守り育てる」ことを基本に、青少年の健全育成に取り組んできました。今後とも子ども達の自主的な活動を支援し、社会性・協調性を身に付けた青少年育成に努める必要があります。
- 村内には沖縄科学技術大学院大学や沖縄宇宙通信所等専門的な研究機関が集積しています。これら機関では、「うんなまつり」でのブースの設置や夏休みでの公開講座等により、子ども達との交流が進められています。今後も、これら機関との連携をはかりながら恩納村の特色を活かした学びの場の提供に取り組む必要があります。
- 平成22年3月に「恩納村図書館推進委員会」を設置し、図書館整備に向けて検討を進めてきました。今後は、平成23年4月に開設した図書館準備室を中心に、恩納村の特性に

あった図書館整備に向け取り組む必要があります。

- 赤間総合運動公園は、プロ選手のキャンプやアマチュアスポーツ大会等で活用されています。平成22年度には、村民の利用を促進するために『赤間総合運動公園周辺整備基本構想』の策定を行い、ウォーキングコース等の整備に向け取り組んでいます。今後も引き続き、計画に基づきながら整備を進め、村民の健康づくりのための拠点として広く活用を促す必要があります。

基本方針

村民が生涯にわたって生き甲斐をもって充実した生活を送れるよう、目的や世代、性別、地域別等に応じた多様な学びやスポーツの機会の提供を通して、地域の実情に応じた各種団体の育成をはかります。また、沖縄科学技術大学院大学等の学術機関との連携をはかりながら、英語をはじめ国際的語学力を身に付けた幅広い人材育成に取り組めます。

さらに、図書館や赤間総合運動公園の周辺等の整備に取り組むことで、生涯学習拠点施設の充実をはかり、恩納村らしさを活かした「いつでも、どこでも、だれでも」学べる環境づくりを進めます。

施策の展開

1) 生涯学習講座の充実

- 地域や時代のニーズ・課題にあった学習内容の提供に努めるとともに、講座成果が活かされた地域活動等の紹介を行う等、生涯学習に対する意識高揚に努めます。
- 学習発表の場の充実や学校支援ボランティアとしての活用等、生涯学習で得た知識・技術の地域還元を促進します。
- 観光や沖縄科学技術大学院大学等による海外からの来村者との国際的交流に備え、英語をはじめとする多言語学習を推進します。

2) 生涯スポーツの振興

- 定期的な体力測定等を実施する等、健康づくりを意識した軽スポーツの普及・促進をはかるとともに、関係団体と連携をはかりながら各グループの自主的な活動を促します。
- スポーツクラブチームの県外派遣や競技レベルにあった指導者の育成に取り組む等、各種スポーツの競技力の向上に取り組めます。
- キャンプに訪れるプロスポーツ選手との交流機会を推進し、子ども達の競技力の向上および村民がスポーツに親しめる機会の確保に努めます。

3) 各種社会教育団体等への活動支援

- 指導者養成研修会を開催する等、各種社会教育団体等の人材育成に取り組めます。
- 各種団体同士の交流の機会を設ける等、団体間や世代間の交流を促進します。

4) 青少年の健全育成

- 子ども達の自主性・社会性・協調性を育むために、交流事業や体験事業等の実施に取り組めます。
- 関係団体と連携をはかり、ジュニアリーダー等、将来を担う人材の育成に取り組めます。

5) 生涯学習拠点施設の充実

- 各生涯学習拠点施設の役割の明確化を行うとともに、施設情報の提供を充実させる等、各施設の利用を促進し、村民が安心して施設を利用できるよう各施設の維持管理に努めます。
- 沖縄科学技術大学院大学や沖縄宇宙通信所等村内に立地している各専門機関と連携をはかりながら、恩納村の特色を活かした学習機会の提供に取組みます。
- 村民の生活環境や情報手段の多様化等を視野に入れながら、図書館整備に向けた検討を進めます。
- 赤間総合運動公園の周辺整備を進めるとともに、村民のスポーツ・健康づくりの拠点としての施設利用を促進します。

3. 文化の振興

現状と課題

- 博物館は自然、歴史、文化等を発信する生涯学習機関であり、その活動は本村に関わりのある資料の収集、整理・保存、展示、教育普及および調査研究があります。村内外の方々からの寄贈や収集活動により、本村に関連する資料も年々増加していますが、今後とも収集や購入等により収蔵資料を増やし、展示の充実をはかる必要があります。さらに、こうした資料を活用し、常設展示や企画展、各種講座、芸術鑑賞等をとおして、調査研究成果等の公開を行うことで、ふるさと学習の拠点となるよう施設としての活性化をはかり、本村の文化の向上と発展に寄与できるよう努めていく必要があります。
- 山田城跡は平成20年4月1日付国指定文化財に指定されました。山田城跡の保存活用に向け、平成21年度から『山田城跡保存管理計画策定事業』を実施しました。今後は、保存範囲や保存手法について検討を行うとともに、緩衝帯（バッファゾーン）となる周辺環境の保全施策の導入についても検討しながら、基本構想、整備計画等を策定し、計画的な保存・整備・活用の推進をはかる必要があります。
- 地域にある山田城跡の知識を深めてもらうため、毎年、山田城跡や座喜味城跡、中城城跡を巡る「親子文化財めぐり事業」を実施しています。その中で真栄田の御待毛から仲泊の一里塚までの一里区間の歴史の道を歩き、仲泊遺跡や山田城跡といった祖先が残してくれた貴重な文化遺産に触れながら、地域の文化財について学ぶ地域学習等に取り組んでいます。今後も恩納村のシンボリックな文化財である山田城跡、国頭方西海道、仲泊遺跡、万座毛の活用をはかるとともに、村民及び村内外に対して広く周知と理解を促進する必要があります。
- 文化活動や生涯学習等を連携した文化の振興をはかるため、恩納ナビ^{うんな}の舞台上映や文化財案内マップの作成を行うとともに、各地域の豊年祭等の紹介やボランティアガイド「道の会」による本村の文化財を巡る歴史散策等が行われています。今後も、文化財や伝統芸能活動を活かした学びの場やイベントの開催に取り組むとともに、文化的資源となる文化財の保護、維持管理に努める必要があります。

基本方針

恩納村の誇りある歴史文化の継承と活性化をはかるため、歴史資源の保存・活用に取り組む等、身近に触れる機会の提供に取り組む等、地域学習や観光との連携を深めることで文化の振興をはかります。

施策の展開

1) 博物館活動の充実

○恩納村の自然、歴史、文化等に関する資料の収集、整理・保存に努め、これらの資料を活用して博物館の常設展示や企画展、講座等の充実に取り組むとともに、生涯学習の拠点として博物館の利用促進に努めます。

2) 山田城跡等の保存整備の推進

○山田城跡の近隣に所在する国指定史跡「仲泊遺跡」や「国頭方西海道」等の文化財を活用し、山田城跡を中心とした保存整理に向け推進をはかります。

○山田城跡の緩衝帯（バッファゾーン）として、城跡周辺の環境保全施策の導入を検討します。

○村内外に対し、山田城跡の理解を深めてもらうため、様々な機会を通して山田城跡に触れる機会を提供するとともに、周知活動に取り組みます。

○万座毛、番所跡、比屋根坂等の沖縄の自然・歴史遺産、また御願所、ウディオガマ等の各地域に伝えられる文化財の周知と保全及び活用をはかります。

3) 文化活動・生涯学習等と連携した地域文化の振興

○地域の文化財を活かした文化活動や生涯学習等様々な場面をとおして、本村の歴史や文化に触れる機会を提供するとともに、琉歌、恩納ナビ、吉屋チルー、うんな 沖繩口、うちなーぐち ハーリー、エイサー、豊年祭等の地域文化の振興に取り組みます。

○恩納村を訪れる人々が、本村の文化財や地域の伝統文化に触れられるよう、村内の文化財や地域の伝統行事等の情報発信に取り組むとともに、ボランティアガイドの育成、文化財の保護や維持管理に努めます。



恩納村博物館



歴史ロード（御待毛前）